

令和5年度 あきつやまゆり保育園自己評価表

評価日 2024 年 1 月 5 日

評価実施者 園長 鈴木 亮 右

評価基準	A:大変良くできている B:できている C:概ねできているが、改善する余地がある D:ほとんどできていない。要改善	A	B	C	D
保育目標	保育方針・保育目標は職員間で共通理解を図っている。	○			
	保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。	○			
	目標は前年度の反省を活かしている。		○		
○評価の根拠●改善策					
<p>○保育所保育指針に基づき、年間行事計画・指導計画・月案を作成している。</p> <p>○主任保育士、保育副主任をクラスリーダーが協力し、その年齢ごとの子供の育ちを把握し、個々の子供たちに寄り添える保育の計画・実施に努める事ができた。</p> <p>○日々の保育について保育士全体での共通理解を深めるため、職員会議、クラスリーダー会議、クラス会議など、職員間で話し合う場を設ける事ができた。また毎月の園内勉強会の実施や園外研修を実施することで保育士自身の成長を促し、一人ひとり考える時間を設ける事ができた。</p> <p>●クラス間で考え方の乖離がないよう、引き続き、勉強会や個々の面談を根気よく実施していく。</p>					
評価基準	A:大変良くできている B:できている C:概ねできているが、改善する余地がある D:ほとんどできていない。要改善	A	B	C	D
保育内容	計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。	○			
	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○			
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。	○			
	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか		○		
	素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	園内研修や評価結果を基に保育の改善に努めている。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○今年度の課題とした「保育の質向上」については、それぞれエルダー制を取ることで、指導役自身も責任感を持って指導することができ、相互に成長することができた。</p> <p>○昨年よりも、保育全体で改善した成果が見られた。</p> <p>●経験年数が比較的浅い保育士も多いため、引き続き保育士個々のスキルの向上や意識の底上げがまだまだ必要である。今の子ども達に何が足りなくて、健やかな成長発達にはどういった保育の提供をしていく必要があるのかを常に意識して業務に向かうことが必要である。</p>					
評価基準	A:大変良くできている B:できている C:概ねできているが、改善する余地がある D:ほとんどできていない。要改善	A	B	C	D
食育	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。		○		
	旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。		○		
	評価結果を元に食育の改善に努めている。		○		
○評価の根拠●改善策					
<p>○季節や献立に合わせて、様々な食育イベントを企画実施（おやつ作り、カレー作りなど）することができた。子供たちの食への意欲につなげる事ができた。</p> <p>●好き嫌い、小食の園児、集中力がない園児に対してのアプローチ方法に改善が必要である。</p>					

評価基準	A:大変良くできている B:できている C:概ねできているが、改善する余地がある D:ほとんどできていない。要改善	A	B	C	D
保育・行事	1日の流れ（デイリープログラム等）は現行で良いか。		○		
	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	○			
	行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。		○		
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○		
	保護者の願いや意見を取り入れている。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○季節ごとの行事や保護者が参加するイベントは、昨年よりも多く実施することができた。 ○ホームページの更新頻度を上げたり、サイネージを使って子ども達の日頃の様子を伝える事ができた。 ○勉強会では、毎月担当の保育が企画を立案し運営することができ、保育士全体のスキルの底上げが図れた。 ●行事後に課題を見つけて、次年度以降のPDCAサイクル「実践→改善」の取り組みに関しては引き続き意識改善が必要。 ●行事（イベント）の頻度や実施月、方法については継続的に検討が必要である。</p>					
評価基準	A:大変良くできている B:できている C:概ねできているが、改善する余地がある D:ほとんどできていない。要改善	A	B	C	D
組織・運営	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に携わっているか。	○			
	職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。	○			
	係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。	○			
	打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。	○			
	年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			
	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○			
	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
	評価・資料（記録）を集積しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○懸案事項を留保せず、スピード感をもって実践していくことができた。 ○勉強会を保育士自身が企画立案することで、自身や保育所が抱える課題を自らが考えて認識するできた。 ○全員が保育を共有でき、自身が振り返る時に役立つ書類に改善されたのは良かった。 ●組織として円滑に運用できる最低限のルールの徹底と強化を図っていく。役割や采配に関しては職員に負荷がかからないよう再検討し、スキルの向上が必要な保育士には都度個別指導を引き続き行っていく</p>					

評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
保健・安全指導	危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○			
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
	保育士・調理員が連携し、アレルギー児や提供方法等に対応する環境・体制にあるか。	○			
	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
	乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
<p>○各種規定、マニュアルを職員会議で周知。年二回嘔吐対応実践として全体研修を実施できた。</p> <p>○年2回の健康診断と年1回の歯科往診、毎月の身体測定を実施。</p> <p>○感染が流行する時期には、安全確保の為、園でできる事（園消毒作業、関係機関や保護者との連絡）は円滑にできた。</p> <p>●訓練内容を見直し、安全訓練計画（非常災害・生活安全・危機管理の3点）を立てる事はできたが、実施日できずに、別日になる等のスケジュール通りにできなかった。</p>					
評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
園内・園外 研究・研修	研修・研究は保育目標の具体化につながるものであるか。		○		
	所内研修の計画・運営は適切か。	○			
	研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。	○			
	各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。		○		
	各種研修会・講習会等での内容を所内に報告・還元しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
○園内研修は月1回ペースで継続的に実施することができた。					
評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
園内情報	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			
	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○			
	掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか	○			
○評価の根拠●改善策					
○子どもの情報等は、守秘義務とプライバシー保護の観点で職員会等で全員に周知した。職員会議に参加できなかった職員には、メール配信も活用し、全職員の情報共有することができた。					

評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
施設・整備	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			
	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○			
	掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
○遊具や玩具の点検（チェックシートの作成）や消毒を行い、整理整頓を定期的実施している。 ○感染症の流行の進捗状況や保護者へのお願い等の掲示は口頭以外での周知に役立っている。					
評価基準	A:大変良くできている B:できている C:概ねできているが、改善する余地がある D:ほとんどできていない。要改善	A	B	C	D
園外交流 情報	積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれている。		○		
	事業所職員の保育体験及び保育施設見学会を受け入れる時は、その目的や目的や意義を理解・確認しているか。		○		
	保育所から各種便りを定期的に発信しているか。	○			
	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報を提供しているか。	○			
	医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
○幼保小交流会への参加や地域の小学校への見学などを実施することができた。					
評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない	A	B	C	D
外部評価	地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			
	苦情解決の体制づくりはできているか。	○			
○評価の根拠●改善策					
○保護者アンケートを実施し、改善の努力をしている。 ※当園では第三者評価は導入していません。					